



4月号

ひだまり

今月のエッセー

僕も少し
まねさせてください



「お釈迦様はね、生涯人のために生きてお方だったんだよ。僕の最も尊敬する人なんだ。お釈迦様が生まれた日は、喜びの甘い雨が天から降ってきたって言われていて、それで僕らは甘茶をかけるんだって。僕はね、甘茶をかける時いつも心の中でこう言うんだ。お釈迦様生まれてくれてありがとうございます。そして、僕も少しまねさせてくださいって。」

これは、私の住む東京のお寺で行われた花まつりの劇、「田中君と猫と毎日の僕」に出てきた言葉です。田中君はいつも人のために生きたいと思っている男子。その反面、親友のしんご君はいつも

編集後記



今月から二人の新人所員が加わり、ルンビニ合掌苑の法話訪問も新たなスタートを切りました。毎月お配りしている『ひだまり』も内容を少し変更し、より楽しんでいただける機関誌になるよう心がけていきたいと思っています。

顔ぶれも新たに始まる今年度ですが、一番の変化はなんとと言っても若さです。

全員が二十代という若さを活かし、皆さんに元気を届けられるよう頑張つてまいります。若さ故の至らなさもあるとは思いますが、今年度もどうぞ宜しくお願いします。

堀江紀宏

発行 曹洞宗総合研究センター教化研修部門

〒一〇五・八五四四

東京都港区芝二・五・二曹洞宗宗務庁内

☎〇三・三四五四・六八四四

四月八日はお釈迦様がお生まれになったことをお祝いする花祭りです。では、お釈迦様がお生まれになった場所はどこでしょう？

ぶったにゃんの

ひだまり仏教クイズ



問題

- ①クシナガラ
- ②ブツダガヤ
- ③ルンビニー

今年度は「ぶったにゃんのひだまりクイズ」と題しまして毎月一問、仏教に関するクイズを出題していきます。仏教の教えや身近な仏教行事、私たちお坊さんが使っている道具など、クイズを通して楽しく仏教に親しんでいただきたいと思います。

気になる答えは、次月号に掲載していく予定です。その際は答えと一緒に簡単な解説もしていきますので、そちらも是非楽しみにしてみてください。それでは『ひだまり五月号』の答え合わせまでじっくり考えてみて下さい♪

堀江紀宏

自分勝手なことばかり。ある日、しんご君のわがままから二人は大喧嘩になってしまいました。自分の事しか考えていなかったことに気づいたしんご君は、深く反省し、今までの自分を改めようと思ひ直します。

数日後、花まつりの日になり、二人はお寺に甘茶をかけに行きました。そこで田中君が言ったのが冒頭のセリフです。この言葉を聞いたしんご君は、隣で深く頷きました。そして、田中君を少し見てこう言います。

「お釈迦様、生まれてくれてありがとうございます。そして：僕も少しまねさせてください！」

甘茶をかけた後のしんご君の顔は、どこか少し今までと違って見えました。

私たちは、すぐにお釈迦様のような人になることはできません。しかし、ほんの少しでも真似をすることで、一歩ずつそこに近づくことはできます。

「お釈迦様のように生きていきたい。」

田中君としんご君の心からの願いに感動した今年の花祭りでした。

大澤香有

「よろしくお願ひします！」

新メンバー紹介



くにきてつゆう
國生徹雄さん
出身地：福島県
趣味：料理
座右の銘：前向き



たけむらしんげん
竹村信彦さん
出身地：長野県
趣味：空を見ること
座右の銘：不言実行



はじめまして。私は福島県の古殿町という所で生まれ育ちました。家はお寺で、子どもの頃からお経を読んだり、坐禅をしたりと、仏教に関わりながら生活してきました。また、駒澤大学を卒業後、大本山總持寺で修行させていただき、仏教のことを学びました。
しかし、私は僧侶としてはまだまだ未熟です。この三年間で私は仏教についてさらに多くのことを学び、僧侶としてもっと成長していきたいです。
また、「ルンビニ合掌苑」を訪問した際には、皆さんとふれあい、仏教の魅力をわかりやすく伝えていけるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

はじめまして。私はリンゴの生産が盛んな長野県松川町の出身です。実家はお寺でなく、リンゴやナシの果樹園を営む農家で、私はその長男として生まれ育ちました。そんな私が出家を決意したのは、福井県にある永平寺で修行したいと思ったからです。「なぜ生きるのか。如何にして生きるのか。」それを体感したいと思い、修行に入りました。そんな思いで入った永平寺では、二百人の修行僧と生活を共にする中で、周りの人々のお陰で生きることが出来るのだと実感し感謝することが出来ました。
「ルンビニ合掌苑」では、修行生活の様子を、少しでも紹介できればと思っています。皆さんとお話できるのを楽しみにしています。どうぞよろしくお願ひいたします。

いろんな仏様

『釈迦如来像』



曹洞宗の本尊でもある釈迦如来像。「如来」の「如」は仏教の真理を意味し、「来」はやって来るということを意味します。「如来」とは、仏教の真理を悟り、その教えで人々を救うために仏の世界からこの世にやって来たという意味なのです。そのため釈迦如来像には衆生救済の願いが込められています。釈迦如来像は仏像の元祖ともいわれられており、多くの国々で信仰されています。日本でも古くから信仰されており『日本書紀』によれば、五三八年に金銅の釈迦像が朝鮮半島から伝来したと書かれています。

また、花祭りの時にみられる誕生仏や、お釈迦様が亡くなった時の姿を表した涅槃仏など様々な種類があるのも特徴です。今後釈迦如来像を拝観する際には、その姿をよく観察してみると面白いかもしれません。

◆中野太秀



ひだまり
ご当地グルメ



愛知県より
『シロノワール』



私、生まれも育ちも愛知ということで、愛知県民ならきっと知っているであろう…この御当地グルメをご紹介します！

その名は「シロノワール」。実はこのシロノワール、名古屋発祥の喫茶店「コメダ珈琲」の不動の看板商品なのです。

外はサクサク、中はふんわり焼き上げた熱々パンの上に、たっぷりのソフトクリームがのったボリューム満点の絶品スイーツです。コメダ珈琲の魅力はこれだけではありません。客席が広く、ログハウスの内装の安心感、さらに朝十一時までに珈琲を頼むと無料でトーストとゆで卵が付いてきます。お昼時はおばちゃんの憩いの場となること必至の喫茶店です！

ちなみに、ルンビニ合掌苑の近くにもコメダ珈琲があります。(江田駅、赤田西公園のすぐ隣にあります。)春のお散歩ついでにお立ち寄りになってみてはいかがでしょうか？ ◆畔柳公潤